

地域植物資源コンテンツの拡充と利活用を促進する 地域フィールド活動支援プラットフォームの研究開発

高知工科大学 地域連携機構

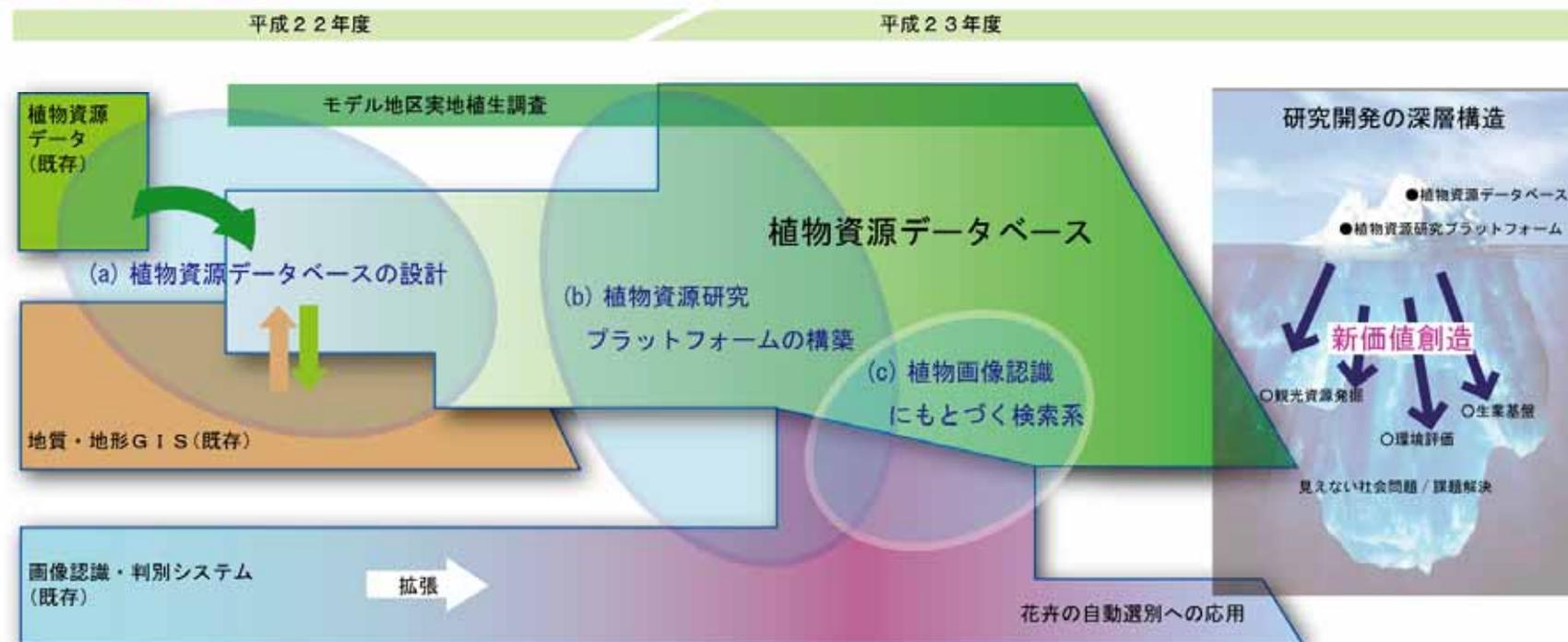
代表：渡邊高志（補完薬用資源学研究室長・特任准教授）

1. 研究目的

植生は地域ごとに特徴があり、さらに植物の持つ機能を地域資源と考えると、どんな植物がどこにどのように自生しているかの情報は重要な地域コンテンツといえる。一方で、広範囲の面積での調査活動で集まるデータ量は膨大であり、かつ分類整理には専門性が必要である。

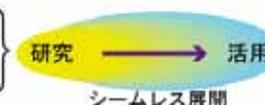
本研究では、地域植物資源のフィールド調査からデータ整理・蓄積さらに利活用を支援するプラットフォームを提案し、その有効性を確認することを目的とする。

2. 研究開発の概要



3. 期待される研究成果及びその社会的意義

- ◆ 成果1：GISと連動する資源植物データベース
- ◆ 成果2：植物資源研究プラットフォーム
- ◆ 成果3：植物の画像認識にもとづく検索システム



- ◆ 社会的意義：豊富な植物相や自然環境をユビキタスコンテンツとして資源化
→ 高知県が21世紀型持続発展社会のモデルとなる